

環境エネルギー科学技術委員会における第 1 1 期の活動について

令和 3 年 ○ 月 ○ 日
研究計画・評価分科会
環境エネルギー科学技術委員会

○第 6 期科学技術・イノベーション基本計画に対応する取組について

(1) 各部会・委員会に関する研究及び開発等に関するもの

今期の委員会においては、2050 年カーボンニュートラル実現目標や各種戦略・計画等を踏まえた、環境エネルギー分野における研究開発の方向性の議論を行うとともに、新規・拡充事業の事前評価や事業期間が終了する事業の事後評価などについて審議を行う。

(2) 自然科学の「知」と人文・社会科学の「知」の融合である「総合知」の創出・活用に向けたもの

2050 年カーボンニュートラルの達成に向けた、国や地域の変革のための知見の創出・普及の観点から、「大学の力を結集した、地域の脱炭素化加速のための基盤研究開発」において、人文・社会科学から自然科学までの幅広い知見を活用し、大学等が地域の脱炭素化の取組を支援するために活用できるツール等に係る分野横断的な研究開発を推進する取組を進めている。また、地域における大学等の「知の拠点」としての機能を強化するため、「カーボンニュートラル達成に貢献する大学等コアリション」を立ち上げ、自治体や企業等との連携による先進的な取組や研究成果の横展開・議論を行い、カーボンニュートラルに向けた知見・技術の社会実装等を推進している。本事業の成果等も踏まえつつ、「総合知」の創出・活用に係る研究開発や体制整備等に関する方向性について審議を行う。

(参考) 統合イノベーション戦略 2021 (令和 3 年 6 月閣議決定) (抜粋)

第 2 章 Society 5.0 の実現に向けた科学技術・イノベーション政策

1. 国民の安全と安心を確保する持続可能で強靱な社会への変革

(2)地球規模課題の克服に向けた社会変革と非連続なイノベーションの推進

③ 経済社会の再設計（リデザイン）の推進

（今後の取組方針）脱炭素化に向けた地域変革を促すための人文・社会科学から自然科学までの分野横断的な研究開発を推進するとともに、各地域において大学等が「知の拠点」としての機能を強化するための大学等間ネットワークを構築・運営。

○今後、分科会で議論することを期待する論点について

（（記載注）なくても構わない）